

平成 31・令和元年度事業報告書

特定非営利活動法人 自遊の広場

1 事業の成果

小規模多機能居宅介護すずかけの家の運営では、年間を通じて定員 20 名がほぼ埋まり、小規模多機能型居宅介護サービスが地域に認知されてきた結果であろう。

その他の活動としては、各種イベントや認知症カフェ等を通じて、利用者の過ごし方を充実させるとともに、地域との交流を進めることができた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア) 小規模多機能型居宅介護の運営に係る事業

○内容:31 年度事業計画では、家族に信頼されること、地域に根差す事業所という目標を立てた。家族とのコミュニケーションを密にとることにより、信頼関係の構築に努めた。また、すずかけの家のある地域(篠原)が 10 月の台風により甚大な被害を受け、地域の避難所に利用者職員が避難するなど、特に防災をめぐって、地域との関係強化ができた。

秋の台風被害に加え、2 月以降は、新型コロナウイルスの影響で、日常生活が大きく変わった。イベントや外出の自粛、三密を避けるため、利用者の「通い」を減らす、職員勤務のシェア等、感染防止対策に努めるほか、ものづくりなど室内での活動を充実させた。

昨年度に引き続き、「ゆずカフェふじの」(認知症カフェ)や「RUN 伴」の実施に積極的に参加した。いずれも、すずかけの家が運営の中核を担っているのは、地域を創るという意味で重要である。

職員研修としては、前年度に引き続き、ケース検討の内部研修を月 2 回程度実施した。加えて、職員が講師になる内部研修を月 1 回のペースで実施した。各職員の関心でテーマが設定され、職員相互の学びの場となっている。

経営面では、昨年度に比べて介護報酬収入が多く、経費を削減したにもかかわらず、今年度も赤字となった。平均介護度が低く(年間平均 1.53)、介護報酬が少ないことが大きな理由である。今後は、加算を増やすなどして、収入を増やす工夫が必要である。

○日時:通年

○場所:すずかけの家及び訪問家庭、外出先

○従事者:のべ 3,873 人

○受益対象者:のべ 5,481 人

○支出額:41,568,914 円

イ) おたのしみ講座じじばば自由大学に係る事業

○内容・日時 映画上映会(8 月 17 日、19 日)、のびるっこ保育園交流会(9 月 12 日)、元気を祝う会(敬老会)(9 月 17 日)、みそづくり(3 月 19 日)

○場所:すずかけの家

○従事者:53 人

○受益対象者:90 人

○支出額:0 円(今年度は、上記アより経費を負担したため)

ウ) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業—イベント事業

○内容(日時/場所)

地域との交流を図り、団体の活動を広めるため、次の主催事業を開催した。

・落語会(6 月 30 日/すずかけの家)

・すずかけ縁日(11 月 30 日/すずかけの家)

地域との交流を図り、団体の活動を広めるため、次の地域イベントに参加した。

・RUN 伴+さがみはら(5月18日)

○従事者:47人

○対象者:390人

○支出額:194,599円

(2)その他の事業

なし